

## 2. 明治期の日本におけるプロテスタント・キリスト教宣教

### 2.1 キリスト教についての基礎知識

はじめに、キリスト教が生まれる母胎となったのはユダヤ教であるということを知らなければならない。ナザレの村の大工の息子イエスはユダヤ教徒であり、ユダヤ教の教師であった。このイエスこそが待ち望んでいたメシア(救い主)であると信じて「イエスこそ、キリストである」と告白した者たちがキリスト者と呼ばれるようになった。

#### 「キリスト」という呼称

「キリスト」とは、救い主を意味する「油注がれた者」というヘブライ語の「メシア(マシアッハ)」のギリシャ語訳である。イエス＝キリスト、キリスト＝イエスは、名前ではなく、「イエスがキリストである」「キリストであるイエス」という信仰告白定型文である。

Ἰησοῦς Χριστός

キリスト教は、ローマ帝国によるエルサレム神殿攻略の後、ユダヤ教から生み出され、パレスチナから地中海世界に広がって行き、それぞれの歴史的・地理的背景の違いから、西方教会(ローマ・カトリック教会)と東方教会(ギリシャ正教会＝ハリストス教会)に、更にローマ・カトリック教会から英国国教会(聖公会)やプロテスタント諸教会が分かれて生み出された。

ギリシャ正教会  
ローマ・カトリック  
プロテスタント

プロテスタントにはそれぞれ歴史的・政治的・地理的背景の違いから特徴を持った多くの教派があるが、いずれも十六世紀の宗教改革に源流を発している。

尚綱女学会は、プロテスタントの一教派、米国北部バプテスト教会(アメリカン・バプテスト)から派遣された独身の女性宣教師たちによって創設された。

#### アメリカのバプテスト教会

バプテストはバプテスマ(浸礼)を授ける者の意味。バプテスマはギリシャ語の βαπτίζω (=baptize 水に浸ける)に由来する。

米国バプテスト教会は、南北戦争(1861-65)をきっかけに、米国北部バプテスト教会(アメリカン・バプテスト)と、米国南部バプテスト教会(サザン・バプテスト)に分かれた。クリントン大統領やカーター大統領はサザン・バプテスト教会の信徒、公民権運動で有名なマルティン・ルーサー・キング・ジュニアは、アメリカン・バプテスト教会の牧師である。

King, Martin Luther Jr. (1929-68)

### 2.2 明治期日本におけるキリスト教宣教について

#### (1) 禁令高札撤去と三つのバンド

1873(M6)年に「吉利支丹及び邪宗門の禁令」の高札が撤去され、日本各地でキリスト教伝道運動が開始された。なかでも「熊本バンド」や「横浜バンド」、「札幌バンド」と呼ばれるグループは日本プロテスタント史の源流であると言われている。

バンド(band)は集団、一団などの意味。

五榜の掲示(第三札)：吉利支丹及び邪宗門の禁令

1868年4月7日(慶応4年3月15日)に太政官が立てた五つの高札のうちの一つ。



定

一切支丹邪宗門ノ儀ハ堅ク御制禁タリ若不審ナル者有之ハ其筋之役所へ可申出御褒美可被下事  
慶應四年三月 太政官

「熊本バンド」

日本組合基督教会の支柱とも言うべき集団。熊本洋学校の教師ジェーンズの感化を受けた学生たちが1876(M9)年、「奉教趣意書」に署名したことに始まる。

京都の同志社英学校を1879(M12)年に卒業した小崎弘道、宮川経輝、海老名弾正、横井時雄、金森通倫、山崎為徳、浮田和民、不破唯次郎などの第一期生十五名は、全員が熊本洋学校の卒業生だった。

彼らは新島襄による同志社英学校創立、1886(M19)年の日本組合基督教会の成立、私立学校設立活動等、近代日本の歴史を展開させる起爆剤となった。中には、海外の宣教団体からの経済的独立を強く主張する者も少なくなかった。『六合雑誌』『新人』『基督教新聞』等のキリスト教系メディアで活躍する人材を輩出した。

「横浜バンド」

1872(M5)年、バラの指導の下「バラ塾」で学ぶ学生を中心にして居留地に設けたプロテスタントの集団。横浜は西洋文明の中心地で宣教師について英語を学ぶものが多かった。

1872(M5)年1月、バラ塾の学生たちは、新年初週祈祷会に参加し、バラの熱心な説教に応答して、洗礼を受ける決意を固

Janes, Leroy Lansing  
(1838-1909)

Ballagh, James  
Hamilton (1832-1920)

## 明治期の日本におけるプロテスタント・キリスト教宣教

めた。3月10日に洗礼を受け、キリスト教信者になった十一名で日本基督公会を設立。この公会は外国のどの教派にも所属しない無教派の福音主義信仰に立っていた。

このメンバーの多くは、やがて S.R. ブラウンの「ブラウン塾」に入塾して、英学や神学を学び、日本のキリスト教会の指導者となり、教育界、政治の分野などで活躍した。押川方義、本多庸一、井深梶之助、植村正久等は代表的人物である。

横浜バンドは、宣教師の指導を受け、最初から本格的な教会設立に結集した点が特徴であり、熊本バンド・札幌バンドと大きく特徴を異にするところである。

### 「札幌バンド」

アメリカ人教育者 W.S. クラークらの感化を受けて、1877(M10)年、「イエスを信ずるものの契約」に署名し入信して教会を形成した札幌農学校学生たち十五名(翌年更に十八名が署名)の集団。中心となったのは大島正健、伊藤一隆、内村鑑三らで1881(M14)年、札幌独立教会を設立した。このうち内村鑑三、新渡戸稲造、宮部金吾らはメソジスト監督教会の宣教師ハリスより洗礼を受けた。

札幌バンドの評価は、北海道地方への影響以上に、内村鑑三から発する「無教会主義」、および内村や新渡戸のもつ幅広い影響に負うところが多い。札幌バンドは、先の契約を核とし、同じ農学校学生であるという結束の契機をもち、クラークの自発的な伝道を受け継ぎ盛んな信徒伝道を行った。札幌唯一のプロテスタント教会を形成したが、無教派主義を選択した。

### (2)バプテスト派による東北伝道

東京大学予備門の前身、東京英語学校の英語教師トーマス P. ポートが1879(M12)年7月、宣教師に転身し、1880(M13)年1月、盛岡で伝道を開始した。盛岡が東北におけるバプテスト発祥の地である。同年1月25日、盛岡第一浸礼教会が設立され、10月10日、仙台第一浸礼教会(現在の仙台ホサナ教会)が設立された。

1884(M17)年、E.H. ジョーンズが仙台に定住する最初の宣教師として来仙し、1890(M23)年、現在の尚絅学院中高校舎がある八幡の土地を購入し、立派な宣教師館を建築し、活動の拠点とした。

1886(M19)年から仙台での宣教活動のために、アメリカン・バプテストの西部女性外国伝道協会(WBFMSW)の独身女性宣教師たちが、次々と送られてくるようになった。最初の女性宣教師は H.M. ブラウンだった。彼女は最初ジョーンズ宅に住み込んで活動していた。1887(M20)年、N.E. ファイフが加わり、新伝馬町・東三番丁の教育会館「五城館」の隣家に一緒に住んで活動した。1889(M22)年9月、ブラウンが離仙し、1890(M23)年2月、L.A. フィリップスが来仙、9月には L. ミードが来仙して活動に加わった。

Brown, Samuel  
Robbins (1810-80)

Clark, William Smith  
(1826-86)

Harris, Merriman  
Colbert (1846-1921)

Poate, Thomas Pratt  
(1848-1924)